

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	神奈川県地域がん登録データによるがん患者数の将来推計
	研究対象者	1990 年 1 月～2020 年 12 月までに新規にがん診断を受け、神奈川県地域がん登録に登録された神奈川県の全住民。
	研究目的	がんの罹患数の将来予測は、今後の医療体制の適切な計画、確実ながん対策、効率的な資源分配、がん負担の軽減のために重要な科学的エビデンスとなります。しかし、日本におけるがん罹患数の将来推計に関する研究は近年ほとんど更新されていない状況です。本研究では最新のデータベースを用いて、高い精度で神奈川県の将来のがん罹患数を予測・推計します。この結果は、神奈川県の今後のがん対策・予防計画の有効性の評価および、医療戦略において重要なエビデンスとなるはずです。
	研究方法	本研究は全住民対象の大規模疾患登録である神奈川県地域がん登録の最新の入手可能なデータと、人口動態調査における神奈川県の人口データ、国立社会保障・人口問題研究所の日本の地域別将来推計人口データと各専門学会の公表データといった、医療や人口に関して公表されているデータを用い、神奈川県の 10 種類の主要ながん（肺がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、肝臓がん、前立腺がん、胆のう・胆管がん、食道がん、子宮がんを含む）について罹患数の将来推計を行います。加えて、年間人口 10 万人あたり 6 人未満しか罹患がなく、対策から見落とされがちな希少がんについても同様の推計を行います。
	個人情報保護	本研究では神奈川県の運営する神奈川県地域がん登録より所得する匿名かされ個人の識別ができなくなった情報を利用します。また、その他の利用データはすべて公表されている統計数値を使用します。
	研究期間	西 暦 2 0 2 3 年 8 月 2 1 日 ～ 西 暦 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[_]試料:	[_]血漿、[_]血清、[_]全血、[_]末梢血から抽出した DNA、[_]病理検体(具体的に記載:_____)、[_]尿、[_]糞便、[_]唾液、[_]胸水、[_]腹水、[_]脳脊髄液、[_]毛髪、[_]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、[_]既往歴、[_]併存疾患、[_]外来日・入院日・退院日、[_]臨床検査値、[_]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[_]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[_]看護記録[X]その他(具体的に記載:診断時居住市区町村)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	臨床研究所がん予防・情報学部 成松 宏人
	共同研究機関および責任者	神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター 成松 宏人
	その他の機関	なし
情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部 Chei Choy Lye 045(520)2222